

ヘレン・ケラー

～ひびき合うものたち

Helen Keller — Hearts in Communion

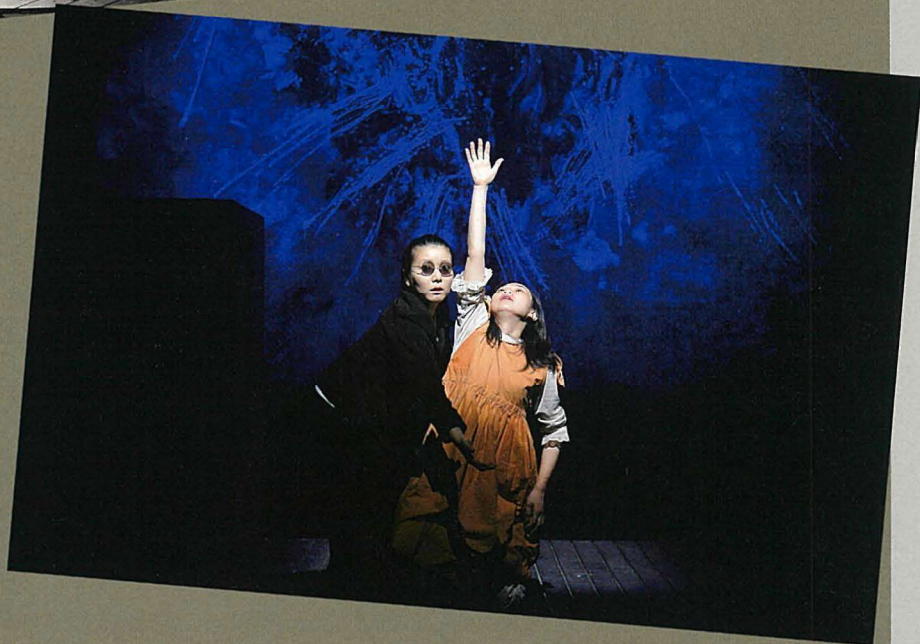
STORY

幼少期の病のため、聴力・視力を失い、話すこともできないヘレン・ケラーと困り果てた家族のもとに、新米の家庭教師アニー・サリバンが訪れる。情熱的に教えようとするも、ヘレンに拒絶され続けるアニーは、周囲と離れ2人きりで生活することを決意する。与えられた時間は2週間。失敗を繰り返しながらお互いを求め、理解し、身体ごとの対話から世界を広げていく2人の出会いを描く東京演劇集団風の代表作です。

—出演—

白根有子 / ヘレン・ケラー
渋谷 愛 / アニー・サリバン
酒井宗親 / アーサー・ケラー
仲村三千代 / ケート・ケラー
中村 滋 / ジェイムス・ケラー
緒方一則 / アナグノス
坂牧 明 / 医者
清水菜穂子 / ビニー
稲葉礼恵 / パーシー

舞台手話通訳 / 小島祐美 (TA-net)
音声ガイドナレーション / 木村奈津子



『バリアフリー演劇』とは

私たちがここで使っている『バリアフリー演劇』という言葉は、新しい造語です。これまでの演劇の舞台を、目が見えない人たちや耳が聞こえない人たちと一緒にみんなで楽しめるように、セリフの字幕表示や音声ガイドを追加したり、更にシナリオや演出にも工夫を加えていこうという新しい試み＝ムーブメントのことを指しています。

今回皆さんにご覧いただく「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち～」は、演出家の浅野佳成氏による新たな書き下ろし上演台本と演出によってお届けするものです。常に進化する舞台表現を、この機会にぜひ体験ください。(総合プロデュース 山上徹二郎)



【舞台説明】

サポート内容、舞台の広さなど説明・出演者自己紹介



【舞台手話通訳】

物語の進行に合わせて舞台上を動きながら通訳を行う(右:舞台手話通訳)



【バリアフリー字幕・ライブ音声ガイド】

舞台中央に日本語字幕を投影／オープンで音声ガイドが流れる



【バックステージツアー】

実際に大道具などに触れ、出演者と交流(終演後)